

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村・組合名	病院名	ページ
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	沼津市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市立総合医療センター	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名					
病院名		静岡がんセンター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	が 特		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	615	90.6	88.2	88.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	90.6	88.2	88.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	11.9	11.8

設立団体の状況	
人口(人)	3,633,202
決算規模(千円)	1,295,659,466
標準財政規模(千円)	749,388,142
財政力指数	0.68341
経常収支比率(%)	94.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 14.3 234.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	43,867,110			
1 経常収益	43,863,079			
(1) 医業収益	34,882,089			
(うち修正医業収益)	34,738,976			
入院収益	16,036,272			
外来収益	18,029,613			
診療収入計	34,065,885			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	816,204			
(うち他会計負担金)	143,113			
(2) 医業外収益	8,980,990			
(うち国・都道府県補助金)	79,123			
(うち他会計補助・負担金)	6,663,808			
(うち長期前受金戻入)	121,131			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,031			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	45,696,858			
2 経常費用	45,487,468			
(1) 医業費用	40,624,703			
職員給与費	15,949,544	45.7	60.8	53.3
材料費	15,835,799	45.4	27.1	33.0
(うち薬品費)	13,014,320	37.3	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,821,479	8.1	11.8	14.1
減価償却費	2,012,257	5.8	8.6	7.4
経費	6,348,113	18.2	22.0	17.2
(うち委託料)	5,199,639	14.9	11.8	10.2
研究研修費	465,788			
資産減耗費	13,202			
(2) 医業外費用	4,862,765			
(うち支払利息)	369,533	1.1	0.9	0.7
(3) 特別損失	209,390			
損益	経常損益			
	純損益			
	-1,624,389			
	-1,829,748			
累積欠損金	7,171,577			
経常収支比率	96.4		93.0	94.3
医業収支比率	85.9		83.9	89.6
修正医業収支比率	85.5		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	15.5		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	81.5		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	48,171,191
1 固定資産	38,002,656
(1) 有形固定資産	36,237,043
(2) 無形固定資産	830,742
(3) 投資その他の資産	934,871
2 流動資産	10,168,535
(1) 現金及び預金	3,663,030
(2) 未収金及び未収収益	5,842,996
(3) 貸倒引当金()	119,422
(4) 貯蔵品	628,124
3 繰延資産	-
負債合計	42,618,531
1 固定負債	31,120,617
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,637,747
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,482,870
(6) リース債務	-
2 流動負債	9,526,348
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,894,779
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,058,275
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,381,125
(9) 前受金及び前受収益	69,490
3 繰延収益	1,971,566
(1) 長期前受金	6,426,288
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,454,722
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,552,660
1 資本金	12,248,126
2 剰余金	-6,695,466
(1) 資本剰余金	476,111
(2) 利益剰余金	-7,171,577
負債・資本合計	48,171,191
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,801,944	6,806,921
資本勘定繰入	1,861,036	222,922
計	8,662,980	7,029,843

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名			
病院名	想定企業会計(静岡県立病院機構)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,633,202	
決算規模(千円)	1,295,659,466	
標準財政規模(千円)	749,388,142	
財政力指数	0.68341	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	234.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	105,707			
1 経常収益	105,707			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	105,707			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	105,707			
2 経常費用	105,707			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	105,707			
(うち支払利息)	105,707	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	静岡市		
病院名	静岡市立静岡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	693,389
決算規模(千円)	375,251,244
標準財政規模(千円)	203,028,710
財政力指数	0.82
経常収支比率(%)	95.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	48,000			
1 経常収益	48,000			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	48,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	48,000			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	48,000			
2 経常費用	48,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	48,000			
(うち支払利息)	48,000	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	-		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	48,000	48,000
資本勘定繰入	293,000	293,000
計	341,000	341,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名		静岡市			
病院名		静岡市立清水病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,997 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	463	63.5	69.6	71.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	63.5	69.6	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	14.9	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	693,389	
決算規模(千円)	375,251,244	
標準財政規模(千円)	203,028,710	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	30.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,672,614			
1 経常収益	11,671,911			
(1) 医業収益	9,376,481			
(うち修正医業収益)	8,698,193			
入院収益	6,206,373			
外来収益	2,279,052			
診療収入計	8,485,425			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	891,056			
(うち他会計負担金)	678,288			
(2) 医業外収益	2,295,430			
(うち国・都道府県補助金)	18,585			
(うち他会計補助・負担金)	2,148,200			
(うち長期前受金戻入)	32,526			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	703			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,922,529			
2 経常費用	12,893,483			
(1) 医業費用	12,297,871			
職員給与費	6,694,696	71.4	60.8	58.1
材料費	2,013,674	21.5	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,176,140	12.5	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	837,534	8.9	11.8	12.7
減価償却費	867,664	9.3	8.6	8.1
経費	2,666,426	28.4	22.0	18.7
(うち委託料)	1,361,576	14.5	11.8	10.4
研究研修費	47,006			
資産減耗費	8,405			
(2) 医業外費用	595,612			
(うち支払利息)	24,531	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	29,046			
損益	-1,221,572			
純損益	-1,249,915			
累積欠損金	1,294,531			
経常収支比率	90.5		93.0	93.4
医業収支比率	76.2		83.9	87.3
修正医業収支比率	70.7		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	30.1		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	24.2		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	68.6		81.6	84.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,812,493
1 固定資産	7,963,345
(1) 有形固定資産	7,558,737
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	404,124
2 流動資産	3,849,148
(1) 現金及び預金	1,348,888
(2) 未収金及び未収収益	2,488,979
(3) 貸倒引当金()	64,624
(4) 貯蔵品	68,791
3 繰延資産	-
負債合計	6,693,325
1 固定負債	4,289,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,655,131
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,289,009
(6) リース債務	345,017
2 流動負債	2,154,326
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	368,799
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	487,589
(6) リース債務	397,831
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	894,277
(9) 前受金及び前受収益	5,485
3 繰延収益	249,842
(1) 長期前受金	823,727
(2) 長期前受金収益化累計額()	573,885
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,119,168
1 本金	6,341,424
2 剰余金	-1,222,256
(1) 資本剰余金	72,275
(2) 利益剰余金	-1,294,531
負債・資本合計	11,812,493
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,770,800	2,826,488
資本勘定繰入	-	28,500
計	1,770,800	2,854,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,024 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	600	80.6	72.8	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	606	79.8	72.1	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.6	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	403,626,364	
標準財政規模(千円)	228,440,968	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,344,419			
1 経常収益	3,344,333			
(1) 医業収益	304,359			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	304,359			
(うち他会計負担金)	304,359			
(2) 医業外収益	3,039,974			
(うち国・都道府県補助金)	71,248			
(うち他会計補助・負担金)	730,333			
(うち長期前受金戻入)	370,617			
(うち資本費繰入収益)	549,022			
(3) 特別利益	86			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,327,494			
2 経常費用	4,327,493			
(1) 医業費用	3,850,364			
職員給与費	11,885	3.9	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	2,617,660	860.1	8.6	7.4
経費	1,085,848	356.8	22.0	17.2
(うち委託料)	1,080,408	355.0	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	134,971			
(2) 医業外費用	477,129			
(うち支払利息)	435,986	143.2	0.9	0.7
(3) 特別損失	1			
経常損益	-983,160			
純損益	-983,075			
累積欠損金	-			
経常収支比率	77.3		93.0	94.3
医業収支比率	7.9		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	30.9		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	340.0		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	30.9		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	53.4		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	54,265,912
1 固定資産	47,623,321
(1) 有形固定資産	47,189,693
(2) 無形固定資産	5,231
(3) 投資その他の資産	428,397
2 流動資産	6,642,591
(1) 現金及び預金	5,862,945
(2) 未収金及び未収収益	771,812
(3) 貸倒引当金()	2,119
(4) 貯蔵品	9,952
3 繰延資産	-
負債合計	40,663,714
1 固定負債	36,589,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,214,614
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	343,643
(6) リース債務	2,031,339
2 流動負債	2,820,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,957,332
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,666
(6) リース債務	164,988
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	649,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,253,979
(1) 長期前受金	4,197,819
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,943,840
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,602,198
1 本金	3,639,993
2 剰余金	9,962,205
(1) 資本剰余金	4,121,274
(2) 利益剰余金	5,840,931
負債・資本合計	54,265,912
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	635,568	1,034,692
資本勘定繰入	909,106	983,997
計	1,544,674	2,018,689

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松市リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,424 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	5	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	180	95.7	93.3	92.8
療養	45	97.3	95.5	95.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	96.0	93.7	93.3
平均在院日数(一般病床のみ)		49.9	50.8	51.7

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	403,626,364	
標準財政規模(千円)	228,440,968	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,241,734			
1 経常収益	4,240,590			
(1) 医業収益	3,829,040			
(うち修正医業収益)	3,829,040			
入院収益	3,221,500			
外来収益	389,742			
診療収入計	3,611,242			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	217,798			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	411,550			
(うち国・都道府県補助金)	2,018			
(うち他会計補助・負担金)	265,639			
(うち長期前受金戻入)	98,865			
(うち資本費繰入収益)	43,699			
(3) 特別利益	1,144			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,201,600			
2 経常費用	4,194,724			
(1) 医業費用	4,119,189			
職員給与費	7,384	0.2	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	229,686	6.0	8.6	9.5
経費	3,879,125	101.3	22.0	28.6
(うち委託料)	3,876,211	101.2	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	2,994			
(2) 医業外費用	75,535			
(うち支払利息)	59,872	1.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	6,876			
損益	45,866			
純損益	40,134			
累積欠損金	53,352			
経常収支比率	101.1		93.0	89.9
医業収支比率	93.0		83.9	79.3
修正医業収支比率	93.0		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	94.8		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	54,265,912
1 固定資産	47,623,321
(1) 有形固定資産	47,189,693
(2) 無形固定資産	5,231
(3) 投資その他の資産	428,397
2 流動資産	6,642,591
(1) 現金及び預金	5,862,945
(2) 未収金及び未収収益	771,812
(3) 貸倒引当金()	2,119
(4) 貯蔵品	9,952
3 繰延資産	-
負債合計	40,663,714
1 固定負債	36,589,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,214,614
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	343,643
(6) リース債務	2,031,339
2 流動負債	2,820,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,957,332
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,666
(6) リース債務	164,988
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	649,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,253,979
(1) 長期前受金	4,197,819
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,943,840
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,602,198
1 本金	3,639,993
2 剰余金	9,962,205
(1) 資本剰余金	4,121,274
(2) 利益剰余金	5,840,931
負債・資本合計	54,265,912
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	107,959	265,639
資本勘定繰入	132,321	132,321
計	240,280	397,960

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,517 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 感 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	36	73.9	75.5	68.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	40	66.5	68.0	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	20.6	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	403,626,364	
標準財政規模(千円)	228,440,968	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,261,347				
1 経常収益	1,260,989				
(1) 医業収益	519,726				
(うち修正医業収益)	478,341				
入院収益	262,959				
外来収益	182,134				
診療収入計	445,093				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	74,633				
(うち他会計負担金)	41,385				
(2) 医業外収益	741,263				
(うち国・都道府県補助金)	2,899				
(うち他会計補助・負担金)	658,086				
(うち長期前受金戻入)	42,597				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	358				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,161,875				
2 経常費用	1,159,448				
(1) 医業費用	1,116,015				
職員給与費	568,117	109.3	60.8	92.5	
材料費	100,127	19.3	27.1	14.2	
(うち薬品費)	57,544	11.1	14.8	7.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,877	6.5	11.8	5.8	
減価償却費	68,618	13.2	8.6	13.4	
経費	376,652	72.5	22.0	47.6	
(うち委託料)	169,677	32.6	11.8	23.6	
研究研修費	1,043				
資産減耗費	1,458				
(2) 医業外費用	43,433				
(うち支払利息)	4,576	0.9	0.9	0.9	
(3) 特別損失	2,427				
損益	101,541				
純損益	99,472				
累積欠損金	-				
経常収支比率	108.8		93.0	95.6	
医業収支比率	46.6		83.9	59.3	
修正医業収支比率	42.9		81.0	54.4	
他会計繰入金対経常収益比率	55.5		12.2	36.9	
他会計繰入金対医業収益比率	134.6		14.3	63.1	
他会計繰入金対総収益比率	55.5		12.3	36.8	
実質収益対経常費用比率	48.4		81.6	60.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	54,265,912
1 固定資産	47,623,321
(1) 有形固定資産	47,189,693
(2) 無形固定資産	5,231
(3) 投資その他の資産	428,397
2 流動資産	6,642,591
(1) 現金及び預金	5,862,945
(2) 未収金及び未収収益	771,812
(3) 貸倒引当金()	2,119
(4) 貯蔵品	9,952
3 繰延資産	-
負債合計	40,663,714
1 固定負債	36,589,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,214,614
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	343,643
(6) リース債務	2,031,339
2 流動負債	2,820,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,957,332
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,666
(6) リース債務	164,988
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	649,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,253,979
(1) 長期前受金	4,197,819
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,943,840
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,602,198
1 本金	3,639,993
2 剰余金	9,962,205
(1) 資本剰余金	4,121,274
(2) 利益剰余金	5,840,931
負債・資本合計	54,265,912
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,651	699,471
資本勘定繰入	7,981	27,728
計	287,632	727,199

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	沼津市				
病院名	沼津市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,309 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	387	62.3	63.6	65.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	62.3	63.6	65.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.5	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	189,386	
決算規模(千円)	92,556,017	
標準財政規模(千円)	43,013,669	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	17.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,367,405			
1 経常収益	11,367,405			
(1) 医業収益	9,117,721			
(うち修正医業収益)	8,409,721			
入院収益	5,982,697			
外来収益	2,327,977			
診療収入計	8,310,674			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	807,047			
(うち他会計負担金)	708,000			
(2) 医業外収益	2,249,684			
(うち国・都道府県補助金)	37,063			
(うち他会計補助・負担金)	2,082,382			
(うち長期前受金戻入)	32,819			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,890,317			
2 経常費用	11,890,317			
(1) 医業費用	11,379,827			
職員給与費	6,035,269	66.2	60.8	61.3
材料費	2,369,530	26.0	27.1	26.2
(うち薬品費)	940,011	10.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,425,304	15.6	11.8	11.2
減価償却費	549,585	6.0	8.6	8.5
経費	2,381,818	26.1	22.0	21.8
(うち委託料)	1,222,586	13.4	11.8	11.9
研究研修費	20,474			
資産減耗費	23,151			
(2) 医業外費用	510,490			
(うち支払利息)	15,240	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-522,912			
純損失	-522,912			
累積欠損金	6,491,534			
経常収支比率	95.6		93.0	92.2
医業収支比率	80.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	73.9		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	24.5		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	30.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	24.5		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	72.1		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,738,552
1 固定資産	8,284,258
(1) 有形固定資産	8,065,788
(2) 無形固定資産	179,570
(3) 投資その他の資産	38,900
2 流動資産	2,454,294
(1) 現金及び預金	1,035,979
(2) 未収金及び未収収益	1,369,828
(3) 貸倒引当金()	10,059
(4) 貯蔵品	36,571
3 繰延資産	-
負債合計	6,391,194
1 固定負債	4,244,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,787,445
(2) その他の企業債	232,719
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,217,562
(6) リース債務	6,465
2 流動負債	1,879,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	515,966
(2) その他の企業債	22,917
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	329,517
(6) リース債務	2,586
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	934,415
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	267,907
(1) 長期前受金	1,180,696
(2) 長期前受金収益化累計額()	912,789
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,347,358
1 資本金	10,838,892
2 剰余金	-6,491,534
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,491,534
負債・資本合計	10,738,552
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,382	2,790,382
資本勘定繰入	200,000	200,000
計	1,500,382	2,990,382

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士宮市				
病院名	富士宮市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,298 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	380	65.9	66.2	64.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	65.9	66.2	64.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.7	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	128,105	
決算規模(千円)	61,284,781	
標準財政規模(千円)	29,046,842	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,721,968			
1 経常収益	10,720,095			
(1) 医業収益	9,490,440			
(うち修正医業収益)	9,163,275			
入院収益	5,537,217			
外来収益	3,480,367			
診療収入計	9,017,584			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	472,856			
(うち他会計負担金)	327,165			
(2) 医業外収益	1,229,655			
(うち国・都道府県補助金)	8,861			
(うち他会計補助・負担金)	1,141,764			
(うち長期前受金戻入)	21,873			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,873			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,678,012			
2 経常費用	11,658,867			
(1) 医業費用	11,128,065			
職員給与費	5,690,310	60.0	60.8	61.3
材料費	3,036,425	32.0	27.1	26.2
(うち薬品費)	2,103,192	22.2	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	932,736	9.8	11.8	11.2
減価償却費	575,359	6.1	8.6	8.5
経費	1,784,972	18.8	22.0	21.8
(うち委託料)	880,873	9.3	11.8	11.9
研究研修費	24,603			
資産減耗費	16,396			
(2) 医業外費用	530,802			
(うち支払利息)	5,031	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	19,145			
損益	-938,772			
純損益	-956,044			
累積欠損金	5,908,441			
経常収支比率	91.9		93.0	92.2
医業収支比率	85.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	82.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	13.7		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	79.3		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,968,260
1 固定資産	6,861,730
(1) 有形固定資産	6,732,018
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	127,060
2 流動資産	3,106,530
(1) 現金及び預金	1,641,301
(2) 未収金及び未収収益	1,400,081
(3) 貸倒引当金()	1,917
(4) 貯蔵品	48,441
3 繰延資産	-
負債合計	3,514,055
1 固定負債	1,752,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,321,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	421,988
(6) リース債務	8,888
2 流動負債	1,618,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	203,861
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	311,797
(6) リース債務	5,109
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,020,342
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	142,968
(1) 長期前受金	388,704
(2) 長期前受金収益化累計額()	245,736
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,454,205
1 本金	12,048,934
2 剰余金	-5,594,729
(1) 資本剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-5,908,441
負債・資本合計	9,968,260
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,468,929	1,468,929
資本勘定繰入	231,071	231,071
計	1,700,000	1,700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	伊東市				
病院名	伊東市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,628 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	250	67.0	73.3	72.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	67.0	73.3	72.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	17.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	65,491	
決算規模(千円)	32,120,189	
標準財政規模(千円)	16,828,430	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	442,659			
1 経常収益	442,659			
(1) 医業収益	55,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	387,659			
(うち国・都道府県補助金)	15,359			
(うち他会計補助・負担金)	241,144			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	355,041			
2 経常費用	355,041			
(1) 医業費用	303,263			
職員給与費	14,373	26.1	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	175,782	319.6	8.6	9.5
経費	112,740	205.0	22.0	28.6
(うち委託料)	83,541	151.9	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	368			
(2) 医業外費用	51,778			
(うち支払利息)	42,153	76.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	87,618			
純損益	87,618			
累積欠損金	649,164			
経常収支比率	124.7		93.0	89.9
医業収支比率	18.1		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	66.9		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	538.4		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	66.9		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	41.3		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	6,221,339
1 固定資産	4,090,409
(1) 有形固定資産	3,968,787
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	121,622
2 流動資産	2,130,930
(1) 現金及び預金	2,109,502
(2) 未収金及び未収収益	1,369
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,217,045
1 固定負債	2,554,719
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,554,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	203,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,325
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,354
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,497
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	459,113
(1) 長期前受金	644,155
(2) 長期前受金収益化累計額()	185,042
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,004,294
1 本金	3,392,898
2 剰余金	-388,604
(1) 資本剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-649,164
負債・資本合計	6,221,339
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	76,217	296,144
資本勘定繰入	82,756	82,756
計	158,973	378,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1180.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	島田市				
病院名	島田市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	38,070 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	435	86.5	83.6	80.7
療養	-	-	-	-
結核	4	2.5	19.7	15.4
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	4.6
計	445	84.5	81.9	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.7	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	95,719	
決算規模(千円)	43,637,546	
標準財政規模(千円)	23,973,223	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	7.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,924,364			
1 経常収益	14,924,364			
(1) 医業収益	13,940,226			
(うち修正医業収益)	13,799,355			
入院収益	8,608,837			
外来収益	4,911,235			
診療収入計	13,520,072			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	420,154			
(うち他会計負担金)	140,871			
(2) 医業外収益	984,138			
(うち国・都道府県補助金)	34,784			
(うち他会計補助・負担金)	706,903			
(うち長期前受金戻入)	41,053			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,850,452			
2 経常費用	16,850,452			
(1) 医業費用	15,753,052			
職員給与費	7,740,180	55.5	60.8	58.1
材料費	4,309,606	30.9	27.1	29.1
(うち薬品費)	2,578,514	18.5	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,730,002	12.4	11.8	12.7
減価償却費	1,693,698	12.1	8.6	8.1
経費	1,910,226	13.7	22.0	18.7
(うち委託料)	1,072,587	7.7	11.8	10.4
研究研修費	53,178			
資産減耗費	46,164			
(2) 医業外費用	1,097,400			
(うち支払利息)	88,228	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,926,088			
純損失	-1,926,088			
累積欠損金	16,244,267			
経常収支比率	88.6		93.0	93.4
医業収支比率	88.5		83.9	87.3
修正医業収支比率	87.6		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	5.7		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	83.5		81.6	84.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	27,334,913
1 固定資産	22,931,379
(1) 有形固定資産	21,345,566
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	1,581,377
2 流動資産	4,403,534
(1) 現金及び預金	1,786,725
(2) 未収金及び未収収益	2,448,398
(3) 貸倒引当金()	19,710
(4) 貯蔵品	185,791
3 繰延資産	-
負債合計	19,251,492
1 固定負債	16,469,250
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,487,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,981,756
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,535,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,146,793
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	506,303
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	876,604
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	246,895
(1) 長期前受金	590,910
(2) 長期前受金収益化累計額()	344,015
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,083,421
1 資本金	24,289,305
2 剰余金	-16,205,884
(1) 資本剰余金	37,613
(2) 利益剰余金	-16,243,497
負債・資本合計	27,334,913
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	845,587	847,774
資本勘定繰入	359,649	359,649
計	1,205,236	1,207,423

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	116.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,999 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	504	72.9	74.6	69.8
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	1.1	14.5
計	520	70.7	72.3	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.7	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	245,392	
決算規模(千円)	110,851,910	
標準財政規模(千円)	53,389,556	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	59.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,850,164			
1 経常収益	15,850,164			
(1) 医業収益	14,805,321			
(うち修正医業収益)	14,138,154			
入院収益	9,732,991			
外来収益	4,234,004			
診療収入計	13,966,995			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	838,326			
(うち他会計負担金)	667,167			
(2) 医業外収益	1,044,843			
(うち国・都道府県補助金)	70,203			
(うち他会計補助・負担金)	770,389			
(うち長期前受金戻入)	44,525			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,656,575			
2 経常費用	16,656,575			
(1) 医業費用	15,757,012			
職員給与費	8,524,066	57.6	60.8	53.3
材料費	4,221,383	28.5	27.1	33.0
(うち薬品費)	2,618,744	17.7	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,602,639	10.8	11.8	14.1
減価償却費	508,914	3.4	8.6	7.4
経費	2,381,024	16.1	22.0	17.2
(うち委託料)	1,336,421	9.0	11.8	10.2
研究研修費	51,309			
資産減耗費	70,316			
(2) 医業外費用	899,563			
(うち支払利息)	3,701	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損	-806,411			
純損	-806,411			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.2		93.0	94.3
医業収支比率	94.0		83.9	89.6
修正医業収支比率	89.7		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	86.5		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	17,828,265
1 固定資産	10,947,610
(1) 有形固定資産	7,496,847
(2) 無形固定資産	950,743
(3) 投資その他の資産	2,500,020
2 流動資産	6,880,655
(1) 現金及び預金	4,374,646
(2) 未収金及び未収収益	2,458,249
(3) 貸倒引当金()	33,393
(4) 貯蔵品	58,643
3 繰延資産	-
負債合計	8,985,495
1 固定負債	5,783,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,996,488
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,787,483
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,894,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	959,416
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	470,778
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,377,736
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	306,970
(1) 長期前受金	1,130,189
(2) 長期前受金収益化累計額()	823,219
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,842,770
1 資本金	7,540,476
2 剰余金	1,302,294
(1) 資本剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	973,204
負債・資本合計	17,828,265
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,437,556	1,437,556
資本勘定繰入	154,805	144,587
計	1,592,361	1,582,143

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	磐田市				
病院名	磐田市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,318 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	498	76.4	73.2	72.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	15.3	19.1	23.7
計	500	76.2	72.9	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.0	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	166,672	
決算規模(千円)	75,928,867	
標準財政規模(千円)	41,712,914	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.4
	将来負担比率(%)	0.4

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	18,848,122				
1 経常収益	18,835,205				
(1) 医業収益	18,315,663				
(うち修正医業収益)	18,054,871				
入院収益	11,529,558				
外来収益	6,010,741				
診療収入計	17,540,299				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	775,364				
(うち他会計負担金)	260,792				
(2) 医業外収益	519,542				
(うち国・都道府県補助金)	63,533				
(うち他会計補助・負担金)	277,730				
(うち長期前受金戻入)	78,616				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	12,917				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	20,945,620				
2 経常費用	20,838,940				
(1) 医業費用	19,850,667				
職員給与費	10,120,407	55.3	60.8	53.3	
材料費	5,046,655	27.6	27.1	33.0	
(うち薬品費)	3,217,069	17.6	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,827,780	10.0	11.8	14.1	
減価償却費	1,089,002	5.9	8.6	7.4	
経費	3,523,590	19.2	22.0	17.2	
(うち委託料)	1,937,524	10.6	11.8	10.2	
研究研修費	51,615				
資産減耗費	19,398				
(2) 医業外費用	988,273				
(うち支払利息)	98,416	0.5	0.9	0.7	
(3) 特別損失	106,680				
経常損益	-2,003,735				
純損益	-2,097,498				
累積欠損金	18,985,608				
経常収支比率	90.4		93.0	94.3	
医業収支比率	92.3		83.9	89.6	
修正医業収支比率	91.0		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	2.9		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	2.9		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	2.9		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	87.8		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,997,268
1 固定資産	12,721,146
(1) 有形固定資産	12,388,361
(2) 無形固定資産	4,047
(3) 投資その他の資産	328,738
2 流動資産	3,276,122
(1) 現金及び預金	145,159
(2) 未収金及び未収収益	3,025,227
(3) 貸倒引当金()	25,360
(4) 貯蔵品	131,096
3 繰延資産	-
負債合計	11,075,461
1 固定負債	6,647,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,780,825
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,867,000
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,699,399
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,596,711
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	590,946
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,411,742
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	728,237
(1) 長期前受金	1,983,127
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,254,890
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,921,807
1 資本金	23,907,415
2 剰余金	-18,985,608
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-18,985,608
負債・資本合計	15,997,268
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,232,460	538,522
資本勘定繰入	1,178,859	1,138,858
計	2,411,319	1,677,380

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	焼津市				
病院名	焼津市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,220 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	423	73.2	77.8	67.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	423	73.2	77.8	67.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.7	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	136,845	
決算規模(千円)	69,275,831	
標準財政規模(千円)	29,666,619	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,194,482			
1 経常収益	14,194,482			
(1) 医業収益	12,996,353			
(うち修正医業収益)	12,164,259			
入院収益	7,665,055			
外来収益	4,291,987			
診療収入計	11,957,042			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,039,311			
(うち他会計負担金)	832,094			
(2) 医業外収益	1,198,129			
(うち国・都道府県補助金)	52,241			
(うち他会計補助・負担金)	791,884			
(うち長期前受金戻入)	127,291			
(うち資本費繰入収益)	122,123			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,601,144			
2 経常費用	15,183,550			
(1) 医業費用	14,265,731			
職員給与費	8,245,983	63.4	60.8	58.1
材料費	3,466,557	26.7	27.1	29.1
(うち薬品費)	2,237,312	17.2	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,158,184	8.9	11.8	12.7
減価償却費	491,289	3.8	8.6	8.1
経費	2,000,329	15.4	22.0	18.7
(うち委託料)	1,200,700	9.2	11.8	10.4
研究研修費	44,925			
資産減耗費	16,648			
(2) 医業外費用	917,819			
(うち支払利息)	24,261	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	417,594			
損益	-989,068			
純損益	-1,406,662			
累積欠損金	10,848,430			
経常収支比率	93.5		93.0	93.4
医業収支比率	91.1		83.9	87.3
修正医業収支比率	85.3		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	82.8		81.6	84.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	11,627,690
1 固定資産	6,953,061
(1) 有形固定資産	6,242,523
(2) 無形固定資産	12,273
(3) 投資その他の資産	698,265
2 流動資産	4,674,629
(1) 現金及び預金	2,429,374
(2) 未収金及び未収収益	2,148,585
(3) 貸倒引当金()	6,083
(4) 貯蔵品	102,753
3 繰延資産	-
負債合計	9,680,694
1 固定負債	5,872,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,814,246
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,058,486
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,300,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	432,766
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	590,140
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,266,406
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	507,344
(1) 長期前受金	1,697,901
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,190,557
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,946,996
1 資本金	12,688,776
2 剰余金	-10,741,780
(1) 資本剰余金	106,650
(2) 利益剰余金	-10,848,430
負債・資本合計	11,627,690
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,623,978	1,623,978
資本勘定繰入	182,352	182,352
計	1,806,330	1,806,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	83.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	藤枝市				
病院名	藤枝市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,940 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	564	73.2	73.6	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	73.2	73.6	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.9	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	141,342	
決算規模(千円)	61,591,678	
標準財政規模(千円)	30,874,244	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	21,134,139				
1 経常収益	21,083,157				
(1) 医業収益	20,156,069				
(うち修正医業収益)	19,507,169				
入院収益	11,693,167				
外来収益	7,456,131				
診療収入計	19,149,298				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	1,006,771				
(うち他会計負担金)	648,900				
(2) 医業外収益	927,088				
(うち国・都道府県補助金)	65,523				
(うち他会計補助・負担金)	680,000				
(うち長期前受金戻入)	88,072				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	50,982				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	22,678,307				
2 経常費用	22,678,307				
(1) 医業費用	21,500,005				
職員給与費	11,144,823	55.3	60.8	53.3	
材料費	6,316,499	31.3	27.1	33.0	
(うち薬品費)	4,197,568	20.8	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,005,418	9.9	11.8	14.1	
減価償却費	1,203,635	6.0	8.6	7.4	
経費	2,749,851	13.6	22.0	17.2	
(うち委託料)	1,664,738	8.3	11.8	10.2	
研究研修費	64,407				
資産減耗費	20,790				
(2) 医業外費用	1,178,302				
(うち支払利息)	33,785	0.2	0.9	0.7	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-1,595,150				
純損益	-1,544,168				
累積欠損金	11,268,746				
経常収支比率	93.0		93.0	94.3	
医業収支比率	93.7		83.9	89.6	
修正医業収支比率	90.7		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	87.1		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	21,475,078
1 固定資産	15,016,525
(1) 有形固定資産	14,454,593
(2) 無形固定資産	8,247
(3) 投資その他の資産	553,685
2 流動資産	6,458,553
(1) 現金及び預金	2,875,269
(2) 未収金及び未収収益	3,429,527
(3) 貸倒引当金()	5,000
(4) 貯蔵品	156,463
3 繰延資産	-
負債合計	11,344,125
1 固定負債	6,745,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,522,718
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,222,673
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,806,278
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,189,035
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	637,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,888,425
(9) 前受金及び前受収益	1,662
3 繰延収益	792,456
(1) 長期前受金	2,787,228
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,994,772
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,130,953
1 本金	21,391,303
2 剰余金	-11,260,350
(1) 資本剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-11,268,746
負債・資本合計	21,475,078
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,557,800	1,328,900
資本勘定繰入	887,900	571,100
計	2,445,700	1,900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	袋井市		
病院名	袋井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	87,864
決算規模(千円)	40,744,552
標準財政規模(千円)	21,239,274
財政力指数	0.82
経常収支比率(%)	95.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	袋井市		
病院名	聖隷袋井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,434 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	5	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	100	87.8	87.8	82.1
療養	50	90.3	92.4	84.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	88.6	89.4	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		56.6	38.2	47.4

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	40,744,552	
標準財政規模(千円)	21,239,274	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	62.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,843,835			
1 経常収益	1,831,282			
(1) 医業収益	1,586,838			
(うち修正医業収益)	1,586,838			
入院収益	1,390,452			
外来収益	92,396			
診療収入計	1,482,848			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	103,990			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	244,444			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	234,805			
(うち長期前受金戻入)	9,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,553			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,834,569			
2 経常費用	1,818,728			
(1) 医業費用	1,811,370			
職員給与費	5,660	0.4	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	66,743	4.2	8.6	10.8
経費	1,738,854	109.6	22.0	29.9
(うち委託料)	17,103	1.1	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	113			
(2) 医業外費用	7,358			
(うち支払利息)	159	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	15,841			
損益	12,554			
純損益	9,266			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		93.0	91.6
医業収支比率	87.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	87.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	87.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,317,749
1 固定資産	922,976
(1) 有形固定資産	868,447
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	54,529
2 流動資産	394,773
(1) 現金及び預金	137,782
(2) 未収金及び未収収益	261,248
(3) 貸倒引当金()	4,257
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	544,199
1 固定負債	149,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	146,956
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,724
(6) リース債務	-
2 流動負債	212,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,602
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	394
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	153,592
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	181,931
(1) 長期前受金	295,908
(2) 長期前受金収益化累計額()	113,977
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	773,550
1 本金	584,500
2 剰余金	189,050
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	189,050
負債・資本合計	1,317,749
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	80	234,805
資本勘定繰入	28,363	28,000
計	28,443	262,805

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	湖西市				
病院名	市立湖西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,962 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	196	35.3	33.6	26.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	35.3	33.6	26.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	17.4	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	57,885	
決算規模(千円)	26,429,190	
標準財政規模(千円)	14,060,160	
財政力指数	1.01	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	15.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,005,349				
1 経常収益	2,995,468				
(1) 医業収益	2,315,840				
(うち修正医業収益)	2,158,713				
入院収益	1,027,472				
外来収益	835,957				
診療収入計	1,863,429				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	452,411				
(うち他会計負担金)	157,127				
(2) 医業外収益	679,628				
(うち国・都道府県補助金)	627				
(うち他会計補助・負担金)	590,862				
(うち長期前受金戻入)	72,727				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	9,881				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,153,967				
2 経常費用	3,152,010				
(1) 医業費用	3,035,832				
職員給与費	1,697,880	73.3	60.8	69.3	
材料費	286,633	12.4	27.1	18.4	
(うち薬品費)	106,901	4.6	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	179,349	7.7	11.8	9.1	
減価償却費	220,875	9.5	8.6	10.8	
経費	821,965	35.5	22.0	29.9	
(うち委託料)	462,026	20.0	11.8	13.7	
研究研修費	4,940				
資産減耗費	3,539				
(2) 医業外費用	116,178				
(うち支払利息)	3,488	0.2	0.9	1.0	
(3) 特別損失	1,957				
経常損益	-156,542				
純損益	-148,618				
累積欠損金	-				
経常収支比率	95.0		93.0	91.6	
医業収支比率	76.3		83.9	77.4	
修正医業収支比率	71.1		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	25.0		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	32.3		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	71.3		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,533,972
1 固定資産	3,156,833
(1) 有形固定資産	3,080,616
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	76,217
2 流動資産	1,377,139
(1) 現金及び預金	1,012,113
(2) 未収金及び未収収益	350,814
(3) 貸倒引当金()	4,738
(4) 貯蔵品	18,066
3 繰延資産	-
負債合計	1,964,134
1 固定負債	617,601
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	488,069
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,437
(6) リース債務	80,095
2 流動負債	447,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,613
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	106,613
(6) リース債務	55,179
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	172,375
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	899,386
(1) 長期前受金	3,377,071
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,477,685
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,569,838
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	947,515
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	947,515
負債・資本合計	4,533,972
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	447,989	747,989
資本勘定繰入	84,898	84,898
計	532,887	832,887

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	御前崎市				
病院名	市立御前崎総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,523 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	145	76.5	74.7	70.3
療養	54	89.3	87.3	80.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	80.0	78.1	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.0	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	31,103	
決算規模(千円)	16,484,073	
標準財政規模(千円)	9,007,036	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	85.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,071,664			
1 経常収益	5,068,096			
(1) 医業収益	3,802,951			
(うち修正医業収益)	3,672,951			
入院収益	2,240,100			
外来収益	1,151,011			
診療収入計	3,391,111			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	411,840			
(うち他会計負担金)	130,000			
(2) 医業外収益	1,265,145			
(うち国・都道府県補助金)	16,571			
(うち他会計補助・負担金)	836,200			
(うち長期前受金戻入)	90,587			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,568			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,436,997			
2 経常費用	5,403,571			
(1) 医業費用	4,773,370			
職員給与費	2,729,154	71.8	60.8	69.3
材料費	612,315	16.1	27.1	18.4
(うち薬品費)	377,699	9.9	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	234,126	6.2	11.8	9.1
減価償却費	425,176	11.2	8.6	10.8
経費	959,855	25.2	22.0	29.9
(うち委託料)	618,601	16.3	11.8	13.7
研究研修費	15,005			
資産減耗費	31,865			
(2) 医業外費用	630,201			
(うち支払利息)	3,570	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	33,426			
損益	-335,475			
純損益	-365,333			
累積欠損金	1,044,037			
経常収支比率	93.8		93.0	91.6
医業収支比率	79.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	76.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	25.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	19.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	75.9		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,262,960
1 固定資産	4,572,768
(1) 有形固定資産	4,377,478
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	195,290
2 流動資産	1,690,192
(1) 現金及び預金	1,046,676
(2) 未収金及び未収収益	595,862
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	45,119
3 繰延資産	-
負債合計	2,856,317
1 固定負債	1,114,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	980,368
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	108,262
(6) リース債務	25,408
2 流動負債	679,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,975
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,360
(6) リース債務	13,009
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	349,326
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,062,600
(1) 長期前受金	4,895,300
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,832,700
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,406,643
1 資本金	4,450,680
2 剰余金	-1,044,037
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,044,037
負債・資本合計	6,262,960
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	316,200	966,200
資本勘定繰入	-	-
計	316,200	966,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	菊川市				
病院名	菊川市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,452 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	202	78.4	75.8	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	48.7	47.8	48.1
感染症	-	-	-	-
計	260	71.7	69.6	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	17.0	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	47,789	
決算規模(千円)	24,706,525	
標準財政規模(千円)	12,566,244	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,893,162			
1 経常収益	5,892,272			
(1) 医業収益	5,198,132			
(うち修正医業収益)	5,012,725			
入院収益	3,365,932			
外来収益	1,338,759			
診療収入計	4,704,691			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	493,441			
(うち他会計負担金)	185,407			
(2) 医業外収益	694,140			
(うち国・都道府県補助金)	38,581			
(うち他会計補助・負担金)	567,940			
(うち長期前受金戻入)	44,009			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	890			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,157,293			
2 経常費用	6,116,699			
(1) 医業費用	5,820,010			
職員給与費	3,398,951	65.4	60.8	66.2
材料費	934,099	18.0	27.1	21.2
(うち薬品費)	308,851	5.9	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	566,337	10.9	11.8	10.1
減価償却費	303,279	5.8	8.6	9.5
経費	1,151,645	22.2	22.0	28.6
(うち委託料)	750,750	14.4	11.8	14.4
研究研修費	18,395			
資産減耗費	13,641			
(2) 医業外費用	296,689			
(うち支払利息)	38,574	0.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	40,594			
損益	-224,427			
純損益	-264,131			
累積欠損金	3,727,423			
経常収支比率	96.3		93.0	89.9
医業収支比率	89.3		83.9	79.3
修正医業収支比率	86.1		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	12.8		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	84.0		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,320,418
1 固定資産	5,443,501
(1) 有形固定資産	5,236,753
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	206,748
2 流動資産	876,917
(1) 現金及び預金	28,013
(2) 未収金及び未収収益	820,278
(3) 貸倒引当金()	467
(4) 貯蔵品	29,092
3 繰延資産	-
負債合計	3,688,131
1 固定負債	1,897,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,818,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	76,856
(6) リース債務	2,931
2 流動負債	1,279,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,597
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	238,991
(6) リース債務	853
(7) 一時借入金	121,000
(8) 未払金及び未払費用	282,050
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	510,750
(1) 長期前受金	1,256,504
(2) 長期前受金収益化累計額()	745,754
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,632,287
1 資本金	6,359,710
2 剰余金	-3,727,423
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,727,423
負債・資本合計	6,320,418
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	657,950	753,347
資本勘定繰入	366,722	271,243
計	1,024,672	1,024,590

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	森町				
病院名	公立森町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,766 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	131	89.6	84.1	66.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	89.6	84.1	66.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	14.2	20.7

設立団体の状況	
人口(人)	17,457
決算規模(千円)	10,464,209
標準財政規模(千円)	5,612,067
財政力指数	0.54
経常収支比率(%)	92.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 12.8 30.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,082,395			
1 経常収益	3,072,755			
(1) 医業収益	2,644,500			
(うち修正医業収益)	2,643,021			
入院収益	1,778,532			
外来収益	718,349			
診療収入計	2,496,881			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	147,619			
(うち他会計負担金)	1,479			
(2) 医業外収益	428,255			
(うち国・都道府県補助金)	10,518			
(うち他会計補助・負担金)	289,000			
(うち長期前受金戻入)	14,626			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,640			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,208,337			
2 経常費用	3,186,724			
(1) 医業費用	2,983,044			
職員給与費	1,831,150	69.2	60.8	69.3
材料費	304,066	11.5	27.1	18.4
(うち薬品費)	118,953	4.5	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	185,113	7.0	11.8	9.1
減価償却費	167,246	6.3	8.6	10.8
経費	672,271	25.4	22.0	29.9
(うち委託料)	395,504	15.0	11.8	13.7
研究研修費	5,095			
資産減耗費	3,216			
(2) 医業外費用	203,680			
(うち支払利息)	19,978	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	21,613			
損益	経常損益	-113,969		
	純損益	-125,942		
累積欠損金	3,241,037			
経常収支比率	96.4		93.0	91.6
医業収支比率	88.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	88.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	9.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	87.3		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,523,355
1 固定資産	2,990,228
(1) 有形固定資産	2,950,753
(2) 無形固定資産	8,311
(3) 投資その他の資産	31,164
2 流動資産	533,127
(1) 現金及び預金	68,620
(2) 未収金及び未収収益	453,759
(3) 貸倒引当金()	4,182
(4) 貯蔵品	14,930
3 繰延資産	-
負債合計	1,688,769
1 固定負債	688,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	653,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,312
(6) リース債務	-
2 流動負債	665,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	256,786
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	142,847
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	130,000
(8) 未払金及び未払費用	123,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	334,081
(1) 長期前受金	708,807
(2) 長期前受金収益化累計額()	374,726
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,834,586
1 資本金	5,075,623
2 剰余金	-3,241,037
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,241,037
負債・資本合計	3,523,355
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	455,165	290,479
資本勘定繰入	210,148	209,521
計	665,313	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	122.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	共立蒲原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,651 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	175	72.3	64.5	62.5
療養	92	93.6	91.1	95.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	79.6	73.7	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	13.0	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,498,065			
1 経常収益	5,498,065			
(1) 医業収益	3,909,962			
(うち修正医業収益)	3,646,407			
入院収益	2,639,145			
外来収益	933,803			
診療収入計	3,572,948			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	337,014			
(うち他会計負担金)	263,555			
(2) 医業外収益	1,588,103			
(うち国・都道府県補助金)	11,490			
(うち他会計補助・負担金)	797,199			
(うち長期前受金戻入)	52,285			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,498,065			
2 経常費用	5,498,065			
(1) 医業費用	4,376,483			
職員給与費	2,825,141	72.3	60.8	66.2
材料費	536,202	13.7	27.1	21.2
(うち薬品費)	206,561	5.3	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	329,641	8.4	11.8	10.1
減価償却費	266,011	6.8	8.6	9.5
経費	721,023	18.4	22.0	28.6
(うち委託料)	407,302	10.4	11.8	14.4
研究研修費	7,255			
資産減耗費	20,851			
(2) 医業外費用	1,121,582			
(うち支払利息)	10,667	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	89.9
医業収支比率	89.3		83.9	79.3
修正医業収支比率	83.3		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	27.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	80.7		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,901,485
1 固定資産	4,235,529
(1) 有形固定資産	3,822,002
(2) 無形固定資産	299,547
(3) 投資その他の資産	113,980
2 流動資産	1,665,956
(1) 現金及び預金	554,434
(2) 未収金及び未収収益	1,071,969
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	24,988
3 繰延資産	-
負債合計	1,916,639
1 固定負債	833,152
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	833,152
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	778,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	272,097
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	231,904
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	244,712
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	304,678
(1) 長期前受金	1,536,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,232,255
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,984,846
1 資本金	3,866,317
2 剰余金	118,529
(1) 資本剰余金	35,529
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	5,901,485
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	672,212	1,060,754
資本勘定繰入	153,782	-
計	825,994	1,060,754

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	榛原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,565 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	355	65.5	59.7	52.7
療養	42	98.5	98.2	97.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	397	68.9	63.8	50.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	14.0	15.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	971,049			
1 経常収益	971,049			
(1) 医業収益	179,228			
(うち修正医業収益)	20,192			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	179,228			
(うち他会計負担金)	159,036			
(2) 医業外収益	791,821			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	628,146			
(うち長期前受金戻入)	27,323			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,010,441			
2 経常費用	1,010,441			
(1) 医業費用	817,482			
職員給与費	25,499	14.2	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	255,763	142.7	8.6	8.5
経費	534,765	298.4	22.0	21.8
(うち委託料)	63,539	35.5	11.8	11.9
研究研修費	231			
資産減耗費	1,224			
(2) 医業外費用	192,959			
(うち支払利息)	109,075	60.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-39,392			
純損失	-39,392			
累積欠損金	14,067,473			
経常収支比率	96.1		93.0	92.2
医業収支比率	21.9		83.9	84.6
修正医業収支比率	2.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	81.1		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	439.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	81.1		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	18.2		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,676,494
1 固定資産	6,392,772
(1) 有形固定資産	6,295,709
(2) 無形固定資産	4,894
(3) 投資その他の資産	92,169
2 流動資産	283,722
(1) 現金及び預金	267,978
(2) 未収金及び未収収益	12,745
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,813,766
1 固定負債	4,592,608
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,221,866
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	370,742
2 流動負債	664,246
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	597,077
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,920
(6) リース債務	29,376
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,873
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	556,912
(1) 長期前受金	2,298,536
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,741,624
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	862,728
1 資本金	14,890,126
2 剰余金	-14,027,398
(1) 資本剰余金	40,075
(2) 利益剰余金	-14,067,473
負債・資本合計	6,676,494
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,312	787,182
資本勘定繰入	392,818	392,818
計	723,130	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7848.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)		
病院名	下田メディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,632 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救感輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	130	61.5	55.6	58.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	7.9	19.9
計	134	59.7	54.2	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	16.9	17.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	411,623			
1 経常収益	380,357			
(1) 医業収益	69,688			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,688			
(うち他会計負担金)	69,688			
(2) 医業外収益	310,669			
(うち国・都道府県補助金)	2,296			
(うち他会計補助・負担金)	192,830			
(うち長期前受金戻入)	13,255			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,266			
(うち他会計繰入金)	30,106			
総費用	622,431			
2 経常費用	395,413			
(1) 医業費用	353,504			
職員給与費	20,835	29.9	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	170,499	244.7	8.6	10.8
経費	161,884	232.3	22.0	29.9
(うち委託料)	119,466	171.4	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	286			
(2) 医業外費用	41,909			
(うち支払利息)	33,301	47.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	227,018			
経常損益	-15,056			
純損益	-210,808			
累積欠損金	94,891			
経常収支比率	96.2		93.0	91.6
医業収支比率	19.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	69.0		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	376.7		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	71.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	29.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,085,400
1 固定資産	4,400,992
(1) 有形固定資産	4,343,906
(2) 無形固定資産	5,748
(3) 投資その他の資産	51,338
2 流動資産	684,408
(1) 現金及び預金	555,647
(2) 未収金及び未収収益	128,749
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,332,492
1 固定負債	1,973,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,909,774
(2) その他の企業債	63,368
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	322,397
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	193,883
(2) その他の企業債	6,632
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,522
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	119,318
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	36,953
(1) 長期前受金	108,115
(2) 長期前受金収益化累計額()	71,162
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,752,908
1 資本金	1,183,171
2 剰余金	1,569,737
(1) 資本剰余金	1,664,628
(2) 利益剰余金	-94,891
負債・資本合計	5,085,400
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	173,179	292,624
資本勘定繰入	87,051	42,709
計	260,230	335,333

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団				
病院名	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,529 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	496	83.3	78.1	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	61.7	48.1	59.9
計	500	83.2	77.9	77.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.2	9.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	19,852,575				
1 経常収益	19,839,077				
(1) 医業収益	18,056,571				
(うち修正医業収益)	17,631,519				
入院収益	11,637,295				
外来収益	5,194,105				
診療収入計	16,831,400				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	1,225,171				
(うち他会計負担金)	425,052				
(2) 医業外収益	1,782,506				
(うち国・都道府県補助金)	75,429				
(うち他会計補助・負担金)	701,058				
(うち長期前受金戻入)	467,794				
(うち資本費繰入収益)	255,040				
(3) 特別利益	13,498				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	20,449,975				
2 経常費用	20,437,361				
(1) 医業費用	19,427,134				
職員給与費	10,350,711	57.3	60.8	53.3	
材料費	4,579,342	25.4	27.1	33.0	
(うち薬品費)	2,218,902	12.3	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,355,076	13.0	11.8	14.1	
減価償却費	1,201,446	6.7	8.6	7.4	
経費	3,191,689	17.7	22.0	17.2	
(うち委託料)	1,703,228	9.4	11.8	10.2	
研究研修費	81,015				
資産減耗費	22,931				
(2) 医業外費用	1,010,227				
(うち支払利息)	190,077	1.1	0.9	0.7	
(3) 特別損失	12,614				
経常損益	-598,284				
純損益	-597,400				
累積欠損金	-				
経常収支比率	97.1		93.0	94.3	
医業収支比率	92.9		83.9	89.6	
修正医業収支比率	90.8		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	5.7		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	91.6		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	25,141,796
1 固定資産	13,895,838
(1) 有形固定資産	11,805,895
(2) 無形固定資産	97,663
(3) 投資その他の資産	1,992,280
2 流動資産	11,245,958
(1) 現金及び預金	7,218,580
(2) 未収金及び未収収益	2,886,140
(3) 貸倒引当金()	18,869
(4) 貯蔵品	278,456
3 繰延資産	-
負債合計	19,544,383
1 固定負債	15,298,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,086,985
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,211,819
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,279,844
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	833,516
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	596,402
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,849,726
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	965,735
(1) 長期前受金	6,012,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,047,209
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,597,413
1 本金	1,302,074
2 剰余金	4,295,339
(1) 資本剰余金	196,557
(2) 利益剰余金	4,098,782
負債・資本合計	25,141,796
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	935,262	1,126,110
資本勘定繰入	716,765	600,000
計	1,652,027	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。